

\\ ご当地マドンナとゆく \\

日本全国 ゆるり アウトドア旅

第33回 岐阜県

廃線をガッタンゴー! ペダルを漕いで絶景を巡る



木立を抜け橋梁を渡り、マウンテンバイクで廃線跡を疾走！電車好きなら……いや電車好きならずとも夢中で楽しめる新感覚アクティビティーが岐阜県飛騨市にありました！



今回の先生

田口由加子さん

東京での就職を経て故郷である神岡町に戻り、レールマウンテンバイク「Gattan Go!!」の事務局スタッフとして立ち上げから尽力。運営から広報まで一手に担う。

今回のマドンナ

岡本 文さん

薬草コンシェルジュ。約250種ある飛騨の薬草に魅せられ3年前に千葉県から移住。商品開発支援や薬草フェスティバル開催など薬草のまちづくりに貢献。



今回の旅先は……
岐阜県飛騨市神岡町！

岐阜県北部の富山県境近くにある飛騨市神岡町はかつて鉱山の街として栄え、ノスタルジックな昭和の風景が今も山あい色濃く残る。キャンプ場も点在し、アクセスは富山市や高山市から車で約1時間。写真提供 / 神岡振興事務所 上出久行

日本人ノーベル賞受賞者をも人も生み出した宇宙物理学研究その最先端を行く観測装置「スーパーカミオカンデ」があることで、一躍脚光を浴びた街が岐阜県飛騨市の神岡町だ。神岡町にはかつて東洋一の鉱山といわれ、現在は地下1000mに東京大学の実験施設を備えた「神岡鉱山」があることでも知られる。鉱山は1800年もの間賑わいをみせてきたが、01年に休鉱。産業用の輸送手段でもあった町民の足・神岡鉄道も惜しまれつつ廃線となったが、地元有志によって新たな命が吹き込まれ、今や日本全国から人々が訪れる人気アクティビティーに。それがレールマウンテンバイク「ガッタンゴー!!」である。

ガッタンゴー!!は鉄道跡の線路を利用した新感覚サイクリング。レール上を走れるように改造した専用のマウンテンバイクで神岡町の街並みを望みながら走る。「まちなかコース」で創業し、3年前には「溪谷コース」が待望のオープン。今回のマドンナ岡本文さんはこの溪谷コースが大好きなのだそう。

「レール上を走りながら見上げる空や、木々の緑が本場にきれいで、自然溢れるこのコースが薬草好きの私に合っていると思います」と笑う。

飛騨市は約250種の有用植物が自生する、全国でも類を見



ガタンゴトンと列車に揺られるように心地いいリズムで渓谷を走り抜ける。

何度来ても最高!

漆山駅
URUSHIYAMA STATION



旧漆山駅が起点でゴール。電動アシスト付きマウンテンバイク2台をフレームにしっかり固定し、間には補助席を設置。

赤と青のコントラストが鮮やかな第2高原川鉄橋。見どころのひとつ。

こんな快晴に走れるなんてラッキー!

飛騨市神岡町の基本情報はこの施設で!



道の駅 スカイドーム神岡

岐阜県飛騨市神岡町夕陽ヶ丘6番地
☎0578(82)6777 営業9:00~16:00 水

「ひだ宇宙科学館カミオカラボ」を併設した道の駅。銘菓・名物が並ぶ売店や、飛騨の味を楽しめる食堂も!

旅のMEMO



足元には……



飛騨は薬草の宝庫。消炎・利尿作用があるカキドオシはお茶もおいしい。

施設内には食堂や売店があり、ご当地牛カルビ丼のほか、専門店に引けを取らないラーメンも。氷点下まで気温が下がる真冬に輪切りにして軒先で乾燥させた名物「寒干し大根」は旨み凝縮! 併設の「朝とれ野菜直売所」で販売。

地元民にも愛される食堂ラインナップ



寒干し大根 500円

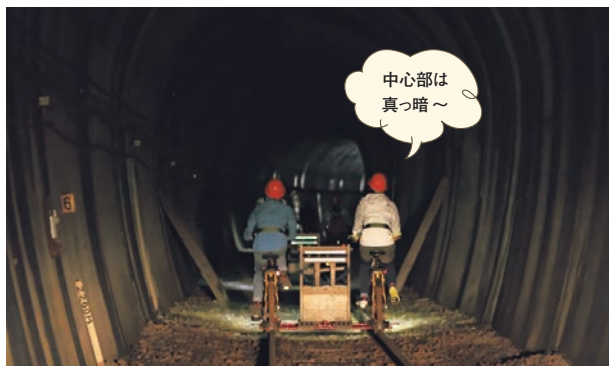


飛騨牛 焼肉カルビ丼 1,350円



あらや ラーメン 750円

↑ 渓谷コースは復路が緩やかな下り。ペダルを漕ぐ足を止め、電車になった気分がガタンゴトン!



中心部は真っ暗~

← コース中には想像以上に長いトンネルも。中心部は出入り口からの光も届かず、遊園地のアトラクションみたい。



「先日ついに古民家を購入しちゃったんです!」
小気味よくペダルを踏みながら、走行の音に負けない声で岡本さんが叫ぶように話してくれた。飛騨の自然の恵みをたっぷりと受けながら人生を築いていく力強い笑顔で。そんな岡本さんが絶賛する秋の飛騨を走り抜ける渓谷コースは11月23日までぜひご体験ください!

「先日ついに古民家を購入しちゃったんです!」
小気味よくペダルを踏みながら、走行の音に負けない声で岡本さんが叫ぶように話してくれた。飛騨の自然の恵みをたっぷりと受けながら人生を築いていく力強い笑顔で。そんな岡本さんが絶賛する秋の飛騨を走り抜ける渓谷コースは11月23日までぜひご体験ください!

ない薬草の宝庫。その環境に魅せられ3年前に地域おこし協力隊として飛騨市に移住した岡本さんは、レールマウンテンバイクの待ち時間もつい野草に目が行く様子。それもそのはず、往復約6・6km、約50分前後をかけて走る渓谷コースはじつに緑いっぱい。風を切りながら木立を抜け、山肌を舐め、トンネルや橋梁をクンケン越えていく。ガタンゴトンとレール上の振動や継ぎ目の音を五感で味わいながら、列車に揺られているような心地いいリズム、みずから漕ぐ疾走感を最高といわずして何といえるだろう!



深まる秋の外ごはんに！
あったかスープがごちそう

凜とした空気に包まれる秋晴れの飛騨。レールマウンテンバイクで体を動かすこんな日は、朝準備したスープで昼食が吉。食べごろ温度が染み入るおいしさです。



ポップカラーの
キャニスターのような
目を引くデザイン

真空断熱スープジャー／
JBT-301 各4,950円

優れた保温力でその名のとおり「スープを温かいまま持ち運べる」真空断熱構造。おかゆやリゾットといった簡単な保温調理も可能で、関連レシピも公式サイトに掲載されている。クリックオープン構造で、フタが開けやすくなった。全3色。



フードコンテナスプーン／
APC-160 1,100円

スプーンは専用設計がオススメ。長さ16cm、使いやすい角形。全4色展開。

これが日本ブランドのこだわり



見よ、このフィット感！底まですくいやすい形状と長さの専用スプーンは一度試すともうほかは使えない。



かゆいところに手が届く細かな工夫



フタは取り外して洗いたい欲求に見事に応える4つのパーツ構造。隅々まで洗え、食洗機にも対応している。

密閉状態から中の圧力を逃すクリック構造で、フタが開けやすくなっている。側面は開けやすい凹凸付き。



容量は食べきりの300mlで、携行しやすいサイズ感も魅力。本体はにおい移りにくいステンレス製。